

令和 7 年度京都府立南陽高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和 7 年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国 語	東京書籍	新編 新しい国語
書 写	光村図書出版	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	山川出版社	中学歴史 日本と世界 改訂版
社会(公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民
地 図	帝国書院	中学校社会科地図
数 学	振興出版社啓林館	未来へひろがる数学
理 科	学校図書	中学校 科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美 術	日本文教出版	美術
保健体育	大修館書店	最新 中学校保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	教育図書	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
英 語	振興出版社啓林館	BLUE SKY English Course
特別の教科 道徳	東京書籍	新編 新しい道徳

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
国語	新編 新しい国語	2	東 書	国語科では、思考力、判断力、表現力などを育成し、主体的・対話的で深い学びを引き出す教材の取扱い、また高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考え。 ◇思考力、判断力、表現力などを育成し、主体的な学びを引き出す教材 ・「学びを支える言葉の力」には、学習の導入としてのアニメーションや、教科書で扱っている内容をより詳しく学ぶことのできる「詳しい解説」、理解の定着を図る「練習問題」が二次元コードコンテンツとして用意されている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる教材 ・教科書全体を通して、多様な個性を持ったキャラクターに倣って主体的に学習を進めるスタイルが貫かれている。問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒同士が助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、互いの考えを活かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・学習の参考や深化・拡充のための資料は、2次元コードコンテンツとして従来より多く用意されており、十分な学習を展開することができるように工夫されている。【別表7】
書写	中学書写	38	光 村	書写では、中高一貫教育の教育課程に関連し、「総合的な学習の時間」や他教科との関連、社会生活と関連した内容の取扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考え。 ◇他教科との関連のある教材 ・他教科との関連がある教材は、教材名の前にマークをつけることで分かりやすく示されており、10教材用意されている。また、内容については防災フェスタや書写用具に関係することなど、SDGsと関連させた題材もみられる。【別表6】 ◇社会生活と関連した内容を取り扱った教材 ・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの（看板など）の写真や実物例を多数示し、「日常に役立つ書式」を取り上げている。【別表5】【別表6】 ◇高等学校との関連 ・伝統的な文字文化教材を7教材取扱い、「なりきり書聖・王羲之」など発展教材を掲載するなど高等学校芸術科書道との関連を図っている。【別表5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考え。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・グラフや資料が見やすく掲載されており、内容的にも充実している。 ・「地理にプラス」や「技能を磨く」など、地理的技能や資料の収集・整理・活用の仕方などを効果的に習得させる工夫がある。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・各単元に「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習内容の定着や言語活動の充実への工夫が見られる上に、各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理的事象を多面的・多角的に捉え、地理の知識や技能を用いて思考・判断し、表現する力を育成する工夫がある。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 ・「NANYO DEPARTURE PROGRAM」では、「日本の伝統や文化を尊重する」態度や「他国を尊重し、異文化を理解する」態度を養うことを目標としているが、日本の文化や伝統の事例が多く取り上げられたり、積極的な現地取材で得られた写真や情報が反映されていたりと、よりその地域の姿を理解しやすく、目標の達成に資する内容になっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
歴史	中学歴史 日本と世界 改訂版	81	山川	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表 2】 歴史学習の導入で、時代区分方法を小学校での既習人物を例にまとめている。生徒の興味・関心を引き出すため、導入資料として年表や図版・イラストが掲載されており、歴史の流れや時代の特色をつかむことができるようにしている。また、単元末には記述式でまとめる問が設定されており、基礎的・基本的な知識が確実に定着するよう工夫している。さらに、知識及び技能の習得を図るため、我が国の歴史に関連の深い世界の出来事を適切に取り扱っている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表 3】 各章末に、政治・経済や世界とのつながりと変化についてまとめ、振り返る課題が示されており、歴史事象に対する思考力、判断力とそれを表現する力を高めることができるように工夫されている。さらに、各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示し、各見開きに導入の問いとまとめの課題を示している。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表 4】 生徒が主体的に学習意欲を高めるために、各時代の特徴的な写真や絵画とともに世界地図と年表を取り上げ、日本の歴史を時間軸と空間軸からグローバルに概観し、学習の目的をつかめるようにしている。また、1 時間ごとに学習課題を設定し、学習課題を解決する手掛かりとなる見方・考え方を欄外に明示している。さらに、多くのコラムが各年代にバランスよく配置されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表 1】 高等学校公民科「現代社会」で学習する内容の一部に関連する教材を取り上げている。推薦教科書では、「歴史を考えよう」や「地域へのアプローチ」を設け、生徒の知的好奇心を高めることで、我が国の文化や高等学校での歴史学習への動機付けとなる配慮がなされている。また、歴史学習の視点を「歴史との対話」を通じて、調べ学習の技能を身に付け、言語学習を充実させて、主体的に学習に取り組めるよう工夫されており、中高一貫校での学習を通して、仲間と協働し、探究する活動を展開することで、同校が育てたい人間像「語学力・想像力・哲学を備え、新たな価値を創造する人」の育成に適している。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
公民	新編 新しい社会 公民	2	東 書	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表 2】 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、1 時間の学習の流れを各項で設定された学習課題について、資料などを活用し、考察することを通して解決し、振り返りができる構成になっている。また、単元のまとめとして、学習した語句を整理することができる課題を設定している。折り合いをつけることに関して、具体的な 5 事例を取り上げている。各章末の「章の学習をふり返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表 3】 思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、更に深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として、具体的な事例をあげている。表現活動の充実への工夫として、話し合い活動やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表 4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表 5】 巻頭に地理・歴史的分野との関連を示す資料を掲載している。また、関連するページに「分野関連マーク」や「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。また、他教科等との関連では、教科関連マークで示している。 ◇中高一貫教育との関連【別表 1】 「もっと知りたい」や「みんなでチャレンジ」などで、高等学校の「公共」や「政治・経済」につながる内容が取り上げられていること、また、各章末では身近な生活の中で生まれるであろう問題を例にした課題を設定していることから、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成することにより同校が育てたい人間像「語学力・想像力・哲学を備え、新たな価値を創造する人」の育成につながると考えられ、適切であると判断する。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力・判断力・表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考え。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表 2】 ・地図の活用について、記号凡例、地図帳の構成、調べ方地域の特色を調べるポイントを掲載しているなど、使い方をわかりやすく解説されている。 ・地図の読み取りなど地図の活用に関する技能を身に付けさせる工夫や、また、地域の特色を偏らずに理解できるように資料の選定がされている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表 3】 ・巻末の統計資料の色分けや地方別合計の掲載、随所に掲載されている主題図、分布図などにより、生徒が資料から思考・判断し、表現できるよう工夫されている。 ・同緯度・同縮尺の日本地図を随所に掲載することで世界と日本の大きさや位置関係を把握しやすいよう工夫されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表 6】 ・資料に世界全体や世界の諸地域の課題を把握できるような工夫がなされており、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の内容も充実している。また、防災の資料が充実し、環境問題や SDGs も意識されている。このように、STEAM 教育を推進している同校に適した内容となっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
数学	未来へひろがる数学	61	啓林館	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であるとする。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・「章末問題」に基礎基本の理解の確認を行う「学びをたしかめよう」、巻末に本文の「問」に対応した「もっと練習しよう」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図る工夫がある。 ・すべての例題に解説動画が用意され、学びをサポートする二次元コードコンテンツも多数用意されており、ICTを活用しながら個に応じた学びを進める工夫がある。【別表2、3】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・章末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。 ・「数学ライブラリ」では、数学の既習事項と日常生活や他教科を関連させた教材が設けられている。 ・巻末の「学びをいかそう」では、数学を用いて身の回りの問題を解決する課題や、数学を活用して発展・深化する課題が示されている。【別表3、6】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章の導入でデジタルコンテンツを利用して、数学的な活動ができるように工夫されている。 ・学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・「例、例題」にもタイトルを付け、復習が行いやすいように工夫されている。 ・章末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができ、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。【別表2、4】 ◇高等学校との関連 ・巻末の「学びをいかそう」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容、高等学校で学習する内容と関連した内容を取り上げている。【別表5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
理科	中学校 科学	11	学図	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、更に中高一貫教育との関連について検討し、以下の理由により本書が適切であると考え。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習を適切に配置し、単元・章の始めに内容に関連する既習事項を示している。単元の初めに必要な実験技能の目標を示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。単元末及び巻末に練習問題を掲載し、索引に適切に基本用語を掲載している。導入や本編内において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。具体例やものの見方・考え方を各ページ下欄に示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験の課題設定から結果考察までの過程を一連に示すことで生徒が見通しをもって取り組めるように工夫したりしている。 実験・観察の結果分析において、科学的に探究する方法が丁寧に記されている。また、学年ごとに段階を踏んで探究的に考える力を身に付けられる構成がなされている。 巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫をしている。主体的に取り組める探究的な学びの場面を提示し、内容の解説や単元末の振り返り問題を記載している。対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。また、各ページに設けられた二次元コードから、全ページをウェブページとして再構築した「ミライ教科書」を使用できる。全学年の巻末に資料があり、デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」と明記した形式で教科書末尾に掲載している。本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り組んでいる。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容を記載している。各学年で「SDGsを意識して脱炭素社会へ」「自然の恵みと災害」の項目を設け、持続可能な社会や環境保全、防災・減災に関する内容に取り組んでいる。【別表5、6】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
音楽 一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながら2領域4分野をバランス良く選択・配列している。我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連をマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形づくっている要素を示し、知覚と感受の関わりを考えることができるよう紙面を工夫している。 ・音楽と生活、社会、文化などとのつながりや音楽の価値を考える題材を巻頭に示し、社会とつながりの視点をテーマとして全体に配置している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示や助言、生徒役のキャラクターによる疑問や気付きなどの吹き出しを随所に配置し、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わりなどについての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野などの内容を習得できるように器楽教材を精選して小学校の内容と系統性を図っている。各楽器の奏法を写真や二次元コードでわかりやすく示して、教材を基礎技能から難易度順に配列し、主体的な学びに対応できる構成となっている。特に、日本の伝統的な楽器は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫している。我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国や諸外国の伝統や文化、国際理解の視点を重視した内容構成【別表1、6】 ・各和楽器奏者からのメッセージや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法など、背景となる文化や歴史などについて幅広く掲載している。巻頭の「音楽って何だろう？」では世界のさまざまな民族楽器の写真を見開きページで紹介している。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術科では、学習指導要領に示す目標の達成のための工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮などの観点から検討し、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げ、資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ・発達の段階に応じて学びが獲得できるよう、系統性に配慮し構成している。「美術1」は身近なものを対象にし、「美術2・3上」では多様な表現に触れ、「美術2・3下」では自己を掘り下げていく題材が設定されている。 ・表現する活動を主にした題材においても、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮がされ、かつ多様な授業展開ができるよう工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 ・各巻末の資料ページは題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料についての知識、美術史の資料などを掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。 ・「技法・用具」についてのデジタルコンツが準備され、二次元コードから技法などを動画で確認することができるよう構成されている。 ・「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成するために、特設ページや資料ページを設けている。【別表1、2、7】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・各題材に「学びの目標」を設定し、育成すべき資質・能力が生徒にも理解しやすい言葉で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設け、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出し、探求的に学習を深められるよう工夫している。 ・原寸大図版など鑑賞を深めるページが用意され、高等学校芸術科の学びへの意欲関心を高める工夫がある。【別表1、3、4、7】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
保健 体育	最新 中学校保健体育	50	大修館	各章ごとに「章のまとめ」を配置し、学習内容の振り返りと発展的な学習ができるように工夫している。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。また、小单元ごとに二次元コードから保体クイズを読み込み、知識の習得状況を確認することができるように配慮している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 「つかむ」では、多様な導入活動を提示し、学習課題につながる気付きや思考を促すように発問を工夫している。また、各章末の「章のまとめ」に、学んだことを活用して次の問題に取り組むことができるように、『思考・判断・表現』の問題が配置されている。 小单元ごとの「学習のまとめ」では、学んだことを自分自身や周囲の人などにどのように生かしていくか考えることで、思考力・判断力・表現力等が高められるよう配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「課題をつかむ」では、学習の見通しや興味・関心を持って臨むことができるように、学習項目の構成や導入活動などを工夫し、主体的に学習に取り組むことができるように配慮している。また、「学習のまとめ」では、学習したことを基に、グループで意見を出し合ったり、話し合ったり、発表する場面を設け、対話的に学習に取り組むことができるように配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「資料」、「保健の窓」、「特集資料」、「コラム」で発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、技術・家庭の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 資料としてイラスト、グラフ、写真、表などを適切に配置し、学習内容が深められるように工夫している。学習内容を広げたり、深めたりするために、「コラム」、「事例」、「特集資料」のページを用意している。巻末に用語解説がある。関連する本文ページをマークで示していたり、本文中に資料と関連付ける印がある。 知識の確認と活用のために、「章のまとめ」のページを用意している。また、ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2	東書	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫【別表 1】 ガイダンスの内容に関する資料のページでは、問題解決のプロセスが整理されている。 「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることで気付きが得られるようになっており、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表 2】 基礎的・基本的な知識や技能については「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。 安全については巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイントは「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表 3】 問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表 4】 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。 各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
家庭	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	6	教図	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・生徒が身近な生活の中から見方・考え方の視点を通して気付きを得たり、問題解決的な学習に取り組むことができるように配慮されている。また、各内容を体系的にとらえて学習できるように工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・実践的・体験的な活動例を取り入れ、手順も分かりやすく示されている。また、授業や家庭でのフィードバックの際に利用しやすい。【別表2】 ・生徒が生活を見つめるきっかけや、自分ごととして考えるための導入に取り組むことで、学習と生活を結び付けることができるように工夫されている。また、明確な手順で問題解決的な学習を進めることができ、学習を繰り返すことで、課題を解決する力が身につくように配慮されている。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・さまざまな実践的・体験的な活動があり、主体的に考えたり、話し合ったりすることで、生徒がより学習を深めることができるように工夫されている。【別表4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・資料・発展などの項目で現代的な課題や発展的な内容を取り上げ、生徒の理解度や興味・関心に応じて、学習を進めることができる。【別表5】 ・他教科や特別の教科 道徳、小学校等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜の工夫 ・表記や表現が、ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。また学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
英語	BLUE SKY English Course	61	啓林館	英語では、学習指導要領の示す目標に従い、各 Unit の構成の特徴や内容、4 技能をバランスよく学習するための創意工夫、生徒が主体的に学習に取り組むための配慮、中高一貫教育を踏まえた適切な語いや語数、デジタル教材や音声教材について検討し、本書が適切であると考え。 ◇各 Unit の構成の特徴や内容 ・各小単元の扉に各 Part の目標を「～できる」という文で明示され、Q&A で英語による導入がしやすい構成となっている。【別表 1】 ・4 技能の活動がバランスよく構成され、基本的な文を学ばせている。各学期末に統合的な活動を入れ、学習内容を活用し、発信活動を行わせる工夫をしている。【別表 1】 ◇4 技能をバランスよく学習するための創意工夫 ・各 Unit の導入部分の効果的なリスニング活動やスピーキング活動により、リーディング活動に意欲的につなげる工夫がされている。【別表 2】 ・リーディング活動後に内容理解のための練習問題や学習内容を定着させるためのライティング活動や、自ら考え、表現する力を養うスピーキング活動が効果的に設定されている。【別表 3】 ・スピーキングの活動内容がペアーワークなどのやり取りやプレゼンテーションなどの発表に適したものとなるように工夫されている。【別表 3】 ◇生徒が主体的に学習に取り組むための配慮 ・新出語句のチェック欄や音読回数の記入欄など、主体的に学習に取り組めるように工夫がされている。【別表 4】 ・自学自習のためのヒントや CAN-DO リストが効果的に設定されている。【別表 1、4】 ◇中高一貫教育を踏まえた適切な語いや語数 ・リーディング活動で使用する本文の語数や文法事項の精選と配列が適切である。【別表 2】 ・3 年次で高等学校の学習内容に接続できるような発展的内容を扱っている。【別表 5】

京都府立南陽高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
特別の教科 道徳	新編 新しい道徳	2	東書	特別の教科 道徳科では、全体としての特徴や創意工夫、道徳的諸価値についての理解を深める工夫、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、中高一貫教育における効果について検討し、本書が適切であると考えます。 1 全体としての特徴や創意工夫 (1) 教材で考えた内容を、コラムで更に深めさせる工夫がある。 (2) 学びを深める QR コンテンツが全ての教材に掲載されている。 2 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 (1) 各教材末に「考えよう」「見つめよう」といった、内容項目について生徒に考えさせる発問と、それをもとに自己を振り返らせる発問を明確に分けて示している。 3 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 (1) 「考えよう」で考える視点を示し「見つめよう」で自分とのつながりを考えさせている。 (2) 「いじめ」などに関する資料では複数教材を用いて、考えたりグループで話しあったりする問題解決的な学習を取り扱っている。 (3) 生徒が考えたことを即座に書き込める「つぶやき」欄や、直接書き込みながら考えを深められる教材がある。 4 中高一貫教育における効果 (1) 他教科や総合的な学習の時間、特別活動等と関連のある教材が多く、すべての教育活動で道徳教育を進めることができる工夫がある。 (2) いじめ問題や国際理解教育等、現代的課題に関する教材が工夫されている。 (3) キャリア教育の教材を中心に高等学校での学びに繋がる内容が取り上げられている。